

平成30年 第87回多可町議会定例会 一般質問

(1日目)9月19(水) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	高齢者の安全を守れ	町長
2	藤本一昭	遊具施設の安全総点検と遊具の更新・新設をせよ	町長・教育長
		小中学校のエアコンの整備と学校開放の施設の不具合箇所の改修をせよ	町長・教育長
		都市計画マスタープランを作成して中区に用途地域を指定せよ	町長
3	門脇保文	学校給食に牛乳が必要か	教育長
		「F1種」で育った野菜類は安全か	教育長・町長
		羽咋市に学べ 市からの営農支援	町長
4	笹倉政芳	災害時の対応策は万全か	町長
5	山口邦政	平成29年度決算を終え、今後の財政運営は	町長
		「関係人口」増加策の取組みを	町長
6	廣畑幸子	コミュニティ・スクールについて	教育長
		右折専用レーンについて	町長
7	橋尾哲夫	八千代小学校の学校評価書を作成すること	教育長
		町インフラ(橋梁・道路等)施設は大丈夫ですか 早期に行財政改革断行を	町長
		成年後見制度利用促進基本計画による基本的な計画は作成されているか	町長

(2日目)9月20日(木) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
8	門脇教蔵	認知症の取り組みについて	町長
9	吉田政義	IWC「SAKE部門」関連行事を多可町に誘致せよ	町長
10	加門寛治	小中学校へのエアコン設置について	町長・教育長
		生涯学習講座の現状と今後どのようにする予定なのですか	町長
		多可町図書館の現状と課題について	教育長・町長
11	市位裕文	災害対策としてのエアコン設置について	町長
12	日原茂樹	情報発信力の強化	町長
		プログラミング教育の準備はできているのか	教育長
13	酒井洋子	未来への投資と仕組みづくり	町長
		一般財団法人多可町農林業公社について	町長

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議員 清水俊博 様

多可町議会議員 大山由郎



受領日	番号
平成30年8月24日 午前・午後8時30分	/

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 高齢者の安全を守れ	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

近年、社会風潮の変動により、人としての道義心、遵法精神、敬老意義なども変化し、裕福な高齢者から金品を搾取してやろう、と言う犯罪者も増え、また、若い世代が親子別居や離別を望み、高齢者側も食生活や生活習慣の差異から同居を望まず、高齢者世帯化、独居老人化が進んでいる。すると防備の面からも、高齢者の増加につれ高齢者被害の犯罪が増加し社会問題化している。

①最近の日本は、統計的には凶悪犯罪等の件数は増加していないが、それでも事件が増加しているように感じられる。このように感覚的に治安状況を捉えることを「体感治安」と言う。最近、日本人の体感治安は悪化していると言われていたが、我が町の治安状況はどうか。

②一般的に、独居高齢者、高齢者夫婦は孤立の傾向にあり、経済、健康の不安も増えている。財産を狙われたり、暴力を振るわれたり、介護を放棄されたり、その他各種の虐待をされる機会が増えている。今行われている高齢者の「見守り」体制をより一層強化すべきだ。

③電話等で人を騙してATMへお金を振り込ませる振り込め詐欺は、今なお後を絶たず、全国的に被害が続出している。この犯罪は、他の手口と異なり1件の被害金額が大きく、特に女性の高齢者の被害が多いと言われていたが。我が町の被害状況とその対策は。

④悪徳商法には広範囲の手口がある。財産形成事犯、特定商取引等に係る事犯、その他の経済事犯があり、高齢者が被害に遭う場合が多く、高齢者に対する保護活動の一環として、我が町は各種機関と連携し、防犯指導、困りごと相談等を行っているが、犯罪防止の啓発、広報等今以上に周知徹底すべきだ。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様

多可町議会議員 藤本一昭



受 領 日	番号
平成30年8月24日 午前・午後8時42分	2

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 遊具施設の安全総点検と遊具の更新・新設をせよ	町長・教育長
<p>子育てを推進する多可町において、現在子育てしている保護者の悩みは、町内の学校園・公園・広場等の施設に、子供を遊ばせる遊具がない地域が多数あります。幼児を持つ保護者が、安心して子供を遊ばせる場所がない状況であります。平成13年ごろに全国で学校・公園などでの不良遊具に伴う事故が多発して、以降、危険な遊具の撤去がなされた。結果、本町でも遊具の撤去はしたが、遊具の更新・設置はなされず現在の状況となっている。必要な学校・園・公園等に安全点検と遊具の更新・新設を求める。</p>	
2. 小中学校のエアコンの整備と学校開放の施設の不具合箇所の改修をせよ	町長・教育長
<p>近年の夏の暑さは、私たちの子供の頃と気象が全く変わっており夏の生活自体も様変わりしている中、多可町の小中学校にエアコンを早期に設置して健康を維持できる学校施設とすべきであります。全ての普通教室に来年度の夏までに整備すべきであります。中学校は、31年度の設置予定であります。この際、生活弱者である小学校にも同時に設置して、児童・生徒の健康な学習環境確保を図るべきであります。学校の施設を町民に開放している施設の不具合箇所の修繕を図れ。</p>	
3. 都市計画マスタープランを作成して中区に用途地域を指定せよ。	町長
<p>多可町は、総合計画の明示する都市計画マスタープランの策定を早期に策定して、10年先の街づくりのために、直ちに都市計画区域である中区に用途地域の指定をなし農業地域と市街化地域を区分することで、民間活力による多可町の産業・工業の振興を推進して、基幹産業の育成と住みよい住環境の確保するために用途地域を指定してすべきである。そして、用途地域内の不動産の活性化、流通性を高めるべきである。そして、都市計画担当の部署を設置せよ。</p>	

質 問 の 内 容

1. 遊具施設の安全点検と同時に遊具の更新と新設をせよ

平成13年ごろに全国で学校・公園などでの劣化不良遊具に伴う事故が多発して、管理者が、危険な遊具を撤去されております。

現在、多可町で子育てしている保護者方の悩みの一つは、町内の公園や広場等の施設で、子供を遊ばせる遊具がない地域が多数あり、幼児を持つ保護者が子供を遊ばせることが難しい状況である。その結果、本町でも遊具の撤去はしたが、遊具の更新・設置はなされずに、現在の状況となっている。現在、農村公園には、13集落に1つ以上の遊具があります。都市公園には、13の公園に設置されており、そのほか余暇村公園に遊具が整備されています。これらの遊具の安全総点検を実施して、そして小学校、キッズランド・農村公園・都市公園等に安全な遊具の計画的な更新・設置を求めます。

2. 小中学校のエアコンの整備と学校開放の施設の不具合箇所の改修をせよ

近年の夏の暑さは、私たちの子供の頃と気象が全く変わっております。夏の生活自体も様変わりしている中、多可町の小学校中学校にエアコンを早期に設置して健康を確保できる学校施設とすべきであり、来年度の夏までに全ての普通教室に整備すべきであります。中学校は、31年度の設置予定であります。この際、生活弱者である小学校にも同時に設置して、児童生徒の健康確保をすべきである。

現場の状況は、本年7月の下旬に梅雨が明け、以来8月一杯、連日気温が、35度以上の猛暑日となっております。当然、猛暑で教室の気温は、連日35度以上、日によって38度を観測した教室もあると聞きました。そんな中、授業中に給水タイムをとって水分補給したりして授業を受けており、中には、お昼の給食を食べて、教室が高温のため給食を戻す児童もあつたり、高温で体調を崩し気分が「しんどい」と訴えた児童生徒は、各学校、連日のことでありました。現在の住宅には、エアコンが設置されているのが普通の状況の中、義務教育の場である学校が、未だにエアコンが未整備である事自体が、時代錯誤の状況であります。この際、来年中学校のエアコン設置と同時に小学校の普通教室にもエアコンの整備を求めます。

そして、学校の体育館は、災害時の避難場所に指定されていますが、体育館の雨漏りがひどい、照明が不具合、フローアが相当傷んだ状況等があり、住民の非難所として利用するには、不適切な施設が数多くありますので計画的に改修すべきであります。今後の計画的に改修工事すべきであります、答弁を求めます。

3. 都市計画マスタープランを作成し中区に用途地域を指定せよ

多可町の中区は、都市計画法の定める都市計画区域を昭和46年ごろに設定されております。それ以降、都市計画道路および公共下水道の整備に関して、都市計画法の適用受けてまちづくりを進められてきました。当時の制度では、都市計画区域に市街化区域と市街化調整区域を設定して、市街化区域に用途地域を定めることになっておりましたが、約10年前に区域区分を指定する事なしに、用途地域の指定ができよう法改正されました。

一昨年前に、多可町第二次総合計画を策定されました。それを、具体的にまちづくりを目標とする「まちづくり」の具体的計画を明示するために、「多可町都市計画マスタープラン」を早期に策定して、10年先の街づくりのために、直ちに都市計画区域である中区に用途地域の指定を実施して、農業地域と市街化地域を区分することで、民間活力による多可町の産業・工業の振興を推進して、基幹産業の育成と住みよい住環境の確保するために用途地域を指定すべきであります。そして、用途地域内の不動産の活性化、流通性を高めるべきであると考えます。

残念ながら、現在の多可町の役場には、都市計画の担当部署がありません。この際、建設課を拡充して「建設都市計画課」として、まちづくりを担当させるべきであると考えますが、町長の答弁を求めます。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様

多可町議会議

門 脇 保 文



受 領 日	番号
平成 30 年 8 月 24 日 午前・午後 8 時 51 分	3

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 学校給食に牛乳が必要か？	学校給食課長 教育長
<p>牛乳に依存しなくても成長期の子供にカルシウムは摂取できる。 WHO の見解「1 日 300 ミリグラム未満のカルシウム摂取量であっても健康を害することは無い。」 野菜や果物を多く食べた子供には尿中のカルシウムの排出量は少ない。 むしろ、カルシウムを取りすぎるとパラドックスという現象が起こる。そのために骨粗鬆症や動脈硬化を引き起こす。 乳糖を分解するには、「ブドウ糖」と「ガラクトース」の 2 つの糖に分解する腸内酵素「ラクターゼ」が必要です。 「ラクターゼ」は 1 歳半から 4 歳にかけて徐々に低下します。 牛乳による残留農薬、食物アレルギー、虫歯に関する事、牛白血病ウイルスの感染問題等、学校給食に必要なか？</p>	
2. 「F1 種」で育った野菜類は安全か？	教育長 町長
<p>雄性不稔 F1 種の野菜が学校給食に取り入れられているのではないかと ミトコンドリア遺伝子の異常が雄性不稔を引き起こす。このような野菜類を使用していないか、 どのような方法で監視体制がとられているか？ 異常なミトコンドリア DNA をもった野菜を取る事により男性不妊症との関係</p>	
3. 羽咋市に学べ 市からの営農支援	町長
「自然栽培新規就農者支援」制度の導入	

質 問 の 内 容

1. 学校給食に牛乳が必要か？

今子育てをしている親世代はたいてい子どもの頃、牛乳は体に良いと教え込まれてきているはず。「牛乳を飲まないで背が伸びないよ！」

「牛乳を飲んでカルシウムをとらないと骨が弱くなるよ！」

背を伸ばしたいために、胃腸のゴロゴロに耐えながら、毎日飲み続けた人もいるかもしれません。

昨今、そんな年代の親世代には、にわかに受け入れがたいけれど、もうすでに牛乳の神話ともいうべき健康飲料としての地位が崩壊し始めています。

カルシウムの摂取量が少ないからと言って骨粗鬆症になるわけではない現在、WHO の見解でも『1 日に 300 ミリグラム未満のカルシウム摂取量であっても、健康に害を及ぼすという確たる証拠はない』となっており、むしろカルシウム・パラドックスという現象が確認されているほどです。

カルシウムの摂取量が多い国に骨折や骨粗鬆症が多いという現象です。血中カルシウム濃度が高すぎると、逆にそれを下げるために、カルシウムの排出量が増加するといえます。また、血中のカルシウムが動脈硬化を引き起こす原因にもなりかねません。

さらに、カルシウムだけをとったからと言って、これがすぐに骨や歯になるわけでもない。ビタミン D やビタミン K といった物質と共にとることによって、骨代謝が良くなると言われてしています。

そうなってくると、牛乳に依存しなくても、魚や豆類、野菜から摂取できるカルシウムで十分足りていて、むしろ先進国の多くはカルシウムの取り過ぎくらい感があります。

「野菜と果物を多く食べた子供は尿中のカルシウムの排出量が少なかった。野菜と果物の摂取量が多いほど骨密度が高いという研究結果が老若男女それぞれにある。」といった内容からも容易に想像がつくように、問題はカルシウムの摂取ではなく、果物や野菜の摂取ではないか。さらに、現代人の砂糖や動物性食品依存の偏った食生活や運動不足、日光を浴びない生活、喫煙やカフェインの取り過ぎといった別の要因の方が、骨粗鬆症になる要素が強いと言えそうです。

負担のかかる「乳糖」の分解プロセス

哺乳類は、およそ出生時の 3 倍程度の体重になるまで、母乳により成長します

が、離乳期を過ぎても、乳を飲み続ける動物は人間と飼猫くらいしかいないそうです。そもそも、哺乳動物の母乳（乳汁）の組成は、糖質、タンパク質、脂肪、ミネラルの含有量など動物の種類によってずいぶんと違います。「乳糖」とは、牛乳に含まれている糖質（炭水化物）のこと。この乳糖は、乳腺の腺細胞で作られ、哺乳類の乳汁にだけ存在する成分です。（※ただしアシカ、アザラシ、オットセイ、セイウチの乳汁には、乳糖は含まれていないそうです。）

乳糖を腸で吸収するためには、『ブドウ糖』と『ガラクトース』の二つの糖に分解する必要があります。その為に必要な腸内酵素が「ラクターゼ」です。

この酵素は、妊娠7か月頃から胎児の腸内で活性が盛んになり、出産直後から最も活性が盛んになります。しかし、1歳半ごろから4歳にかけてラクターゼの活性は徐々に低下します。この生理現象は子どもの離乳期と一致します。また、赤ちゃんの歯の生えてくる時期とも並行して進んでいます。つまり、母乳

中心の食事から、食物を咀嚼^{そしゃく}して食べる食事へと移行するのです。

その他にも牛乳について、残留農薬の問題や、食物アレルギーの問題、虫歯に関するものや、牛白血病ウイルスが人にも感染する疑いなどなど。調べればたくさん研究報告が出てきます。

学校給食に本当に必要な物なのか？

2. 「F1種」で育った野菜類は安全か？

我々はただ野菜を摂っていれば健康にいい！と単純に考え過ぎていたのか、農作物の在り方が戦後大きく変わり続けています。

今回の話は、農業関係者の方はよく知っている話かもしれませんが、一般にはあまり知られていない話です。

私たちがスーパーで買って食べている野菜の多くが、一代雑種の「F1（ハイブリッド）」というものになっています。また、家庭菜園を楽しむためにホームセンターで購入する種も「F1種」などと書かれています。

このF1種という野菜は一体どんなものなのか？

例えば、ナスやトマトは自分の雄しべの花粉で自家受粉します。これでは、親世代と同じ形質のものしか取れませんので、求める形質をもつ雑種を作ることができません。

そこで他の品種と交雑させます。

形が揃うように、また色のばらつきがないように、運ぶ際に崩れないように皮を厚くしたり、ある特定の病気の耐病性をもたせたりと、遠い系統の品種

や、違う野菜との交雑が行われます。

交雑させた1代目(F1)は、メンデルの法則に従って優性だけが現れます。遠い系統の花粉をつけることで、雑種強勢(ざっしゅきょうせい)が働いて、1代目の形質は、目的とする都合の良い優性形質が得られます。

ただ、自然に任せていたら自家受粉されてしまい、思うような野菜が得られないので、「除雄(じょゆう)」という作業を行います。字からも分かるように雄

しべを人為的に取り除いてしまうことです。そして、雌しべが受粉可能になるときに、別品種の花粉をつけてやるというわけです。

これらF1種の作物から採取した種を翌年利用することはできません。

なぜなら、F1世代を交雑すると、F2世代では隠れていた劣性形質が出現し、求めている形質を得ることができないからです。

その為、F1種は1度限りの収穫で、農家は翌年以降もまた種を種苗会社から買い続けなければなりません。

そこで近年利用が増えてきているのが、「雄性不稔(ゆうせいふねん)」という方法です。

この「雄性不稔」という言葉は、聞きなれない言葉ではありますが、不稔とは、雄しべや葯(やく)に異常があり、花粉を作れない又は花粉の機能不全を意味します。動物で考えると、つまり男性不妊・無精子症などに当たります。

この雄性不稔F1種というものが問題視されているのです。

初めての雄性不稔F1タマネギが発表されたのが、第二次世界大戦中の1944年(昭和19年)でした。

その後、多くの野菜で雄性不稔株が見つかり、タマネギ、トウモロコシ、ニンジン、ネギ、ナス、テンサイ、ヒマワリ、シュンギク、レタス、シシトウ、インゲン、カリフラワー、ブロッコリー、大根、キャベツ、イネなどへと広がり、雄性不稔F1品種がつくられ、普及してきています。将来、市場の野菜のほとんどが、雄性不稔F1品種になる時代がすぐそこまで近づいています。

問題はここからです。

この雄性不稔株は、本来であれば遺伝子異常の形質であり、自然淘汰されるものです。人間はそれを逆手に取り、この遺伝子異常の作物を増やし続けていることになります。

このような雄性不稔はどのようにして発生するのでしょうか？

最近では、ミトコンドリア遺伝子の異常が雄性不稔を引き起こすことがわかってきました。

動物の場合でも、ミトコンドリア遺伝子の突然変異をマウスに導入すると、そのマウスは精子数が減少し、精子の運動能力が落ちて不妊症に陥ってしまうことが確認されています。私たちの細胞一つ一つに、多い場合で数千個も存在すると言われるミトコンドリア。細胞のエネルギー生産になくてはならない存在です。

このミトコンドリアは、私たちの遺伝子とは別のミトコンドリア DNA を持っています。

このミトコンドリア DNA は、母系遺伝することが分かっており、父方のミトコンドリア DNA を受け継ぐことはありません。常に母方のミトコンドリア DNA が、子へと引き継がれていきます。雄性不稔 F1 種の野菜がどんどん普及するということは、男性不妊症のミトコンドリア DNA をもった野菜を量産することになります。

ミトコンドリアは、動物や植物はもちろん菌類などでも共通するものです。この異常なミトコンドリア DNA をもった野菜を、日々食べ続けて人体に影響がないという確たる証拠はまだありません。自然界に対する影響も、将来どのような形で現れるのかいまだ不明です。遺伝的形質というものは、じわりじわりと生命や生態系にまで影響を与えていくものです。

以前 2006～2007 年頃にかけて、セイヨウミツバチの大量失踪事件と言うものが話題になったことがあります。

大量失踪したセイヨウミツバチは、主に巨大トウモロコシ農場で働くミツバチたちで、遺伝子組み換えや雄性不稔作物の受粉に利用されていました。アメリカでは、飼育されていたセイヨウミツバチの 1/4～1/3 が、突然いなくなったということから事の重大性が分かります。近代的な農場で働くセイヨウミツバチに、大きな問題が起きていることには間違いありません。[「タネがあぶない」](#)の著者 野口勲氏は、男性不妊症との関係も指摘しています。

また別の報告において、

ここ数十年の間に、男性の精子数が急激に減っているという事実があります。デンマークの科学者ニールス・スカケベック (Niels Skakkebaek) 教授が、WHO の会議において、「過去 50 年にわたって精子の数が半減している」という報告を以前に出しています。

環境ホルモンによる影響や食生活の変化、ライフスタイルの変化等が言われ続けていますが、このミトコンドリア DNA 異常の食物をとり続けていることも大きな一因ではないかとも考えられます。

確かに雄性不稔 F1 種が利用され始めたのが 1940 年代。高度成長と共に F1 種が普及し、精子減少の傾向が顕在化してきたと考えることもできます。

今後、このような異常なミトコンドリア DNA を持った野菜がほとんどになり、さらには遺伝子組み換え作物も日本国内で認められ、入ってきている今、次世代の子どもたちに発生する影響は、まだまだ未知です。万が一将来、重大な悪影響が発覚した場合、取り返しがつきません。もうすでに、多くの作物で利用されているという事は、野菜ジュースはもちろん砂糖を使う清涼飲料水や、その他膨大な数の加工品まで、影響は甚大です。

学校給食に於いて、野菜などの食物に対するリテラシー（識字率）を上げ、何を食べるか、どんな育成方法を選ぶか、を選択していかなければいけないと感じます。

「固定種」の種を絶滅させないためにも、地域の中小的な農場を見直し、地元で昔ながらの野菜を作り、自家採種を続けることも今後ますます重要になります。行政側が世の中のおかしな方向に追従するのではなく、本当に安全な野菜を子どもたちに残していくべく、新たなニーズを発信していく必要があるのではないかと。

3. 羽咋市に学べ

「農家始めませんか？」 市からの手厚い営農支援

土壌づくりも農作物の生産も難しい食材を給食に用いたのには、もちろん訳があります。

羽咋市は、独自に「自然栽培新規就農者支援」という、農業従事者への画期的な支援制度を導入しました。自然栽培に共感し、この土地で新しく農家を始める人に対し、農地の紹介や作業機器の買い上げ支援、空き家の斡旋、助成金の交付など、国の補助に上乗せした手厚い営農支援が受けられるという制度です。

市と JA がタッグを組んで、自然農法を志す農家を地域でサポートしていく体制が整っている、それがこの根源的なオーガニック栽培を地域ブランドにしたい羽咋市の思惑でもあるのです。

こうまでして、羽咋市が自然栽培の普及に力を入れる理由。余喜小学校を訪問し、生徒と一緒に給食を食べた山辺芳宣市長はこう語る。

「農業といえば、これまで生産量が重視されてきましたが、最近では量より質。自然栽培は安全性を追求しており、質の面でトップに立てると考えています」

地方創生の要となりえる事業として、これまで自然栽培に取り組んできた羽咋市が、学校給食に自然栽培した米や野菜を出す。全国に先駆けたこの試みが、「石川の食文化に自然栽培野菜あり」を印象づける布石を打ちました。地産地消という概念に加え、より安全な土着の味をかみしめる。こうした食育への取り組みについて町長の所見は？

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
 多可町議会議員 笹倉政芳 様



受 領 日	番号
平成30年 8月 26日	4
午前・ 午後 4時 56分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1 災害時の対応策は万全か.	町長
1、 西日本豪雨時の災害対策本部は適正に機能したか 2、 9月2日の多可町避難訓練の成果と課題は 3、 危険個所と一時避難所の安全確保は 4、 多可町防災ネットの活用と河川監視カメラの必要性 5、 自衛隊、消防、災害時相互応援協定との連携は	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

災害時の対応策は万全か

活発な梅雨前線による西日本を中心とした豪雨は7月4日深夜から8日の午前中まで続き全国の警察や自衛隊、消防の救助や捜索、地元消防団も総力を挙げて懸命に命の確保に努められました。しかし、特に広島県、岡山県、愛媛県が大きな被害を受け、220人を超える尊い命が奪われ平成に入って最悪の豪雨被害と位置づけられました。お亡くなりになられた皆さんに対し、心からご冥福をお祈り申し上げますと共に一日も早い復旧、復興を願うばかりであります。

多可町内でも7月の平年雨量の約2.5倍、年間雨量の約3割に相当するもので、7月7日の1:22には町内で初めての大雨特別警報が発令されるなど記録的な豪雨を観測しました。7月の5日の夜に大雨警報と洪水警報が発令され、6日には大雨洪水警報さらに7日の深夜には土砂災害警戒情報と大雨特別警報が発令されました。

その間多可町の体制としては洪水警報発令後に初動警戒本部を設置し7月8日の災害対策本部を解散するまでの間いろいろな葛藤の中で対応したと思います。そして大きな被害を出さずに済んだことに感謝するところです。ただ大雨特別警報発令とほぼ同時の避難勧告発令や災害対策本部から指令の全職員配備のタイミングは適正だったのかと危惧しています。反省も含め答弁を求めます。

土石流が起きた神戸市灘区篠原台の住民を対象に、神戸新聞社がアンケート調査を行ったところ、避難勧告の発令を知っていたにもかかわらず、その時点で避難しなかった世帯が8割超に上がることが分かった。逃げるのが大前提とされる避難勧告だが、発令が危機意識に結び付かない実態が改めて浮き彫りになったと報じられました。

多可町では自主避難含めて41世帯85人が避難所を利用されました。また、自宅でもり安全なところに身を寄せる垂直避難された人もあると思いますが、短時間で増水することも想定するとすぐに行動しなければ10分～20分後には避難できない状況になります。命を守る一番の手段は、はやく安全な場所に避難することです。特に高齢者や障がい者、乳幼児といった非難するのに時間を要する人たちはできるだけ明るいうちに避難する。その意識を高めることが重要です。9月2日に行われた避難訓練もその一つだったと思いますが、どんな成果がありどんな課題が見つかったか答弁を求めます。

兵庫県宍粟市では川が土砂でせき止められて一時避難先の公民館が浸水被害にあいました。公民館にいたら安全だと思っていた人は多く一時避難所の見直しが問題視されています。また、農家の減少や住民の高齢化から、ため池の管理が困難なところも増えています。今一度集落単位で危険個所の点検や一時避難所の安全確保など早急に方策を検討しなければならないと思うが、どんな指導をしているのか答弁を求めます。

また、身近な情報を早く知ることが大切です。その一つが、多可町防災ネットです。

私は4年前に役場の職員に教えてもらい設定までしていただき今ではなくてはならない情報源です。少しでも多くの住民の人に登録していただきたいと思いますが登録されている人は何割ぐらいおられるのでしょうか。もう一つが、多可町ホームページの防災気象情報です。細部にわたってシステムが確立されていますが中でも24時間ライブで河川の水位を監視するカメラです。

それぞれの地域の主要な場所に設置されています。特に夜間の豪雨は危険です。屋内にいながら避難判断水位や氾濫危険水位を確認することができ自主避難等早めの対応につながると思います。しかし、欲を言えば、夜間豪雨の時見にくい箇所があるのもう一工夫できないか、又、増設する考えはないか答弁を求めます。

最後に、近年の異常気象や南海トラフ巨大地震等によって多可町がいつ大災害に見舞われるかもしれません。一瞬にしてモノの流れが止まってしまいます。その中で食料、水、炊き出し、トイレ、仮設住宅の確保 ボランティアセンターの開設、自衛隊への要請など自治体としてしっかりと対応しなければなりません。

今後の訓練の中で自衛隊と消防の連携や、災害時相互応援協定を結んでいる宮城県村田町、福井県若狭町、鳥取県若桜町との応援の具体策について答弁を求めます。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
 多可町議会議員 山口邦政



受 領 日	番号
平成30年 8月 27日 午前 ・午後10時 35分	5

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 平成29年度決算を終え、今後の財政運営は	町長
○決算数値をどう判断するのか、今後の見通しをお示しく下さい。 ○合併特例債の今後について。 ○全国インフラ危険度ランキングの分析と対応は。	
2. 「関係人口」増加策の取組みを	町長
定住人口や交流人口増加も必要だが、それをさらに充実進展させて「関係人口」増加策を打つべきと考えるが。	
3.	
(Empty space for further questions and answers)	

質 問 の 内 容

1、平成 29 年度決算を終え、今後の財政運営は

今議会に平成 29 年度歳入歳出決算書が提出されました。その一般会計をみると歳出で 122 億 923 万円と昨年比で 6 億 1,361 万円の増で 4 年ぶりに 120 億を上回る決算となっています。

各種財政指標の各数値をみますと、財政力指数は横ばいで 0.33、経常収支比率は 95.7%と悪化、実質公債費比率は 16.8%と悪化、将来負担比率は 37.6%と悪化となっています。

実質収支は 1,300 万円ほど黒字となっていますが、財政調整基金を 3 億近く取り崩したことにより、実質単年度収支が平成 28 年度に続いての 3 億 2,000 万円の赤字となっています。

今、平成 29 年度の決算を終えて、これらの数値をどう判断するのか、今後の見通しについての見解をお示してください。

さらには、合併特例債での今後の事業の計画と、総額でいくらに抑えるのかをお示してください。

また、某週刊誌で報じられた「全国インフラ危険度ランキング」で多可町がワースト 25 にランキングされたことについての分析と今後の財政対応について町長の見解を求めます。

2、「関係人口」増加策の取組みを

多可町では交流人口増加を目指した政策や、移住定住政策による人口増加に向けた取組みが展開されています。また「ふるさと納税」の取組みや夏祭りやふるさと産業展など町外からの来町者の方も多くおられます。それらの政策により多可町と関わりを持ったり多可町を知ってファンになった方々も沢山おられると思います。

これらの方々にもっと深く多可町と関係を持ってもらう仕組みづくりが必要と考えます。そこで提案するのは「関係人口」という考え方です。

「関係人口」とは、言葉のとおり『地域に関わってくれる人口』のことです。多可町のお気に入りの地域に週末ごとに通ってくれたり、頻繁に訪れなくても何らかの形で多可町を応援してくれるような人たちを指しますが、そのような「関係人口」を増やすことを政策の一つの柱に据えませんか。

「関係人口」については国も関心をもっており、平成30年予算では「関係人口創出事業」で2億5千万円を計上し、モデル事業を開始し約30自治体が採択されて事業を進めています。それらの自治体ではその地域の出身者や訪れた事のある自治体外に居住する方などを対象に、「関係人口」を募る仕組みを設け、地域と継続的な繋がりを持つ機会を提供する取組みや、ふるさと納税の寄付者に対して継続的な繋がりを持つ機会を提供する取組みなどを始めています。

多可町でも今行われている「ふるさと納税」者に対するお礼や再度の納税の呼びかけもそのひとつの手段です。もう一步踏み込んで「ふるさと住民票」制度への取組みも必要かと考えます。

定住人口や交流人口増加も必要ですが、それをさらに充実進展させて「関係人口」増加策を打つべきと考えますが町長の所見をお伺いいたします。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水 俊博 様
多可町議会議員 廣畑 幸子



受領日	番号
平成30年8月28日 午前・ 午後 5時5分	6

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. コミュニティ・スクールについて	教育長
別紙参照	
2. 右折専用レーンについて	町長
別紙参照	
3.	

質 問 の 内 容

最初に、コミュニティ・スクールについてお聞きします。

3月議会で、今年度スタートしています八千代小学校のコミュニティ・スクールの仕組み・導入経過などの質問をしました。

今年度に入り、コミュニティ・スクールの委員14名を選出。今年度は初めてということで、スタートはゆっくりですが、第1回目の運営協議会を8月3日に開催。この後、学期毎に1回のペースで開催されるとのことです。

まずは、校長の学校運営の基本方針を説明の上、委員に承認していただいています。

初めての試みであるコミュニティ・スクールが始まるということで私たちも研修が必要と、7月6日に岡山県矢掛町を訪問しました

矢掛町では、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を中核とした取組を、平成18年から始めておられました。

もちろん「地域でどんな子どもを育てるのが大事」や「地域とともにある学校づくりの推進」などは多可町も同じです。しかし、研修を受け、説明を受けて気になったのが「学校評価制度」です。

多可町のコミュニティ・スクールでは、地域とともにある学校運営に欠かせない3つの機能として、「①熟議 関係者がみな当事者意識を持ち、子どもたちがどのような課題を抱えているのか実態を共有するとともに、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するため「熟議（熟慮と議論）」を重ねていきます。②協働 熟議を通して、学校と地域の信頼関係の基礎を構築します。その上で学校運営に地域の人が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していきます。③マネジメント 中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向かって学校内の組織運営を管理することにとどまらず、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていきます。」と掲げています。けれど「学校評価制度」については、どうなのでしょう。作られているのでしょうか。

矢掛町の学校評価ですが、「各学校が行う教育活動その他の学校運営の状況について評価し、学校に対してその取組を評価したり、具体的な改善策を示したりすることによって、組織的・継続的な改善策を図ることを目的」としています。また、学校評価は「自己評価」「学校関係者評価」「専門評価（第三者評価）」によるものとし、その結果を学校評価書にまとめ、町教育委員会に提出するとしています。

八千代小学校は、皆さんもご存じの通り、3つの小学校が統合して八千代小学校となってからまだ3年目です。そんな中で、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を取り入れるというのは、大変なことかもしれません。また学校評価制度を進めるのも大変かもしれません。しかし、矢掛町の学校評価の特色には、「学校改善につながる学校評価」であること「負担感の少ない学校評価」であることそして「地域に根ざした学校評価」であることとされています。

学校関係者評価や専門評価の結果を改善につなげることで「学校が元気になる」「また地域との絆が深まる」のであれば、是非取り入れるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

次に、右折専用レーンについてお聞きします。

多可町には、国道427号が通っています。

中区曾我井から、加美区山寄上までを通る主要道路ですが、この国道には点滅信号を含め17カ所に信号があります。現在は車社会です。特にこの郡部では、自動車類が欠かせません。

もちろん、必要な道路の整備は、バイパスなど順次計画的に行われています。

この国道ですが、新しく整備されるほど実態に合った「右折専用レーン」が設置されています。

しかしここで気になるのが、中区の中央公民館前の信号です。

多可町では、新庁舎が建設中なので、今は八千代北仮本庁舎を始め、いろんな施設に課が分散しています。しかし、10月22日より新庁舎で業務が開始となります。課も新庁舎にほぼ集まります。その時、この中央公民館前の信号を通過する車の量がどのようになるのか気になります。ただ、職員の皆さんの駐車場が、全て新庁舎付近にということは無理なので、そんなに心配はいりませんよと言われるかもしれませんが、右折専用レーンがあれば朝の通勤時間帯の渋滞の緩和にもなるのではないかと思うのです。

そこでお聞きします。

交通量調査は、5年に1度実施と聞いていますが、旧庁舎時代の中央公民館前の信号付近の交通量はどのような量だったのでしょうか。

この調査は県が調査していると聞いていますが町として、新庁舎での業務が再開された後に交通量調査をする予定はありますか。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
 多可町議会議員 橋尾哲夫



受 領 日	番号
平成30年 9月3日 午前 8 時 58分	7

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 八千代小学校の学校評価書を作成すること	教育長
<p>八千代小学校が統合され3年目で学校運営は順調ですか。 コミュニティスクールが導入され、学校運営協議会は以前の組織より権限が増し、地元の学校運営に対する要望も以前より実現できるようになったといわれています。 去る7月に、議会（総務文教常任委員会）は矢掛町のコミュニティスクールの現状を視察してきました。教育長の答弁を求めます。</p>	
2. 町インフラ（橋梁・道路等）施設は大丈夫ですか？ 早期に行財政改革断行を。	町 長
<p>週刊ダイヤモンド5月号で全国の悪い市町村のインフラ危険度を分析した結果が記事として公表されました。多可町は全国の自治体1718団体の内町のインフラ設備の危険度全国ワースト25位です。自治体の決算に普通建設事業費があります。経常収支比率94, 1%、財政力指数0, 33です。町自治体743の内ワースト13です。多可町の老朽化したインフラは維持できるのか。また、財政も厳しい状況にあります。早期の行財政改革断行が必要です。町長の答弁を求めます。</p>	
3. 成年後見制度利用促進基本計画による基本的な計画は作成されているか。	町長
<p>平成29年3月24日、成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき成年後見制度利用促進基本計画が閣議決定されました。その基本的な計画では、専門職団体や関係機関による協議会の設置等が必要です。税理士は社会公共使命にかんがみ、平成26年10月2日に成年後見支援センターを開設し、会員の成年後見制度への取り組みを支援し、一般市民からの相談にも応じています。その基本計画に係る協議会の設置の際には、当会の参画を要請します。町長の答弁を求めます。</p>	

1 八千代小学校の評価表は作成されていません。

平成29年度多可町の教育の点検及び評価平成30年9月に報告書は出ていますが、八千代小学校の評価報告書はありません。

矢掛町は各学校別に評価書が作成され、次年度にすべきことを具体的に示されています。

本年から採用することが、児童の学力もアップします。

矢掛町の教育委員会は評価することにより、学力がアップしたと自信を持って話されました。

2 平成29年度の財政状況を見れば、単年度の実質公債費比率は19.4%で、地方債協議団体（18%以上）です。平成18年4月から許可団体から協議団体に移行しました。平成29年度の財政は悪化しています。

第三次多可町財政改革大綱（平成27年度）を前倒しにして早期の行財政改革の断行が必要です。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
多可町議会議員 門脇教蔵



受 領 日	番号
平成30年 9 月 5 日 午前・午後 9 時 00 分	8

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 認知症の取り組みについて	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

近年認知症に対する研修が大きく進み、認知症に対する理解が進む一方、認知症患者数の増加、認知症対策の問題も大きな社会問題として、新聞、雑誌の特集、テレビ、映画でも取り上げられています。

高齢化は恐るべき勢いで進み、平均寿命は男性 80 歳、女性 86 歳。高齢化率は 25 パーセントを超え、すでに 4 人に一人が 65 歳以上です。本町の平均寿命は、男性 79.4 歳、女性 86.7 歳、健康寿命は男性 65.3 歳、女性 66.9 歳となっており、男女ともに平均寿命、健康寿命ともに兵庫県の平均数値と同じです。

厚生労働省の推計によれば、65 歳以上の高齢者のうち認知症の人は、15 パーセント、およそ 7 人に一人であります。

これからの状況はさらに厳しくなり、2025 年には団塊の世代が 75 歳以上の「後期高齢者」の年齢に達し達します。

認知症が巨大な社会問題になるのは、必然といってよいでしょう。働き方や生き方を問わず、だれにとっても他人事では済まされません。

いつか家族や自分が当事者になります。

現在、多可町の人口は 21,058 人、65 歳以上 7,318 人、75 歳以上 3,990 人、高齢化率 34.75 パーセント(全国 28.0 パーセント)となっています。


現在、多可町の認知症高齢者推計約 1,100 人(65 歳以上の 15 パーセント) 認定あり 850 人、認知症と正常の間の人約 950 人(65 歳以上の 13 パーセント) 認定を受けていない約 250 人になっています。

今後多可町も急速に高齢化社会になっていくわけですが、その高齢者に対する取り組み、特に認知症高齢者に対して、現在どのような取り組みをされているのかをお伺いいたします。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水 俊博 様
 多可町議会議員 吉田 政義



受 領 日	番号
平成30年 9月 5日 午前・午後 9時 6分	9

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. IWC「SAKE部門」関連行事を多可町に誘致せよ	町 長

IWCとは「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」の略称で、イギリスのウィリアム・リード社が主催し、1984年に創立された世界最大規模で、最も影響力のあるコンペティションとして知られています。「SAKE部門」は2007年に設立され、2016年、10周年を記念し、兵庫県で審査会等が開催されました。審査会には、審査員として英国及び欧州各地より日本酒のサービス、販売等の経験が豊富な関係者が集まります。「SAKE部門」では、9つのカテゴリー（普通酒、本醸造酒、純米酒、純米吟醸酒、純米大吟醸酒、吟醸酒、大吟醸酒、古酒、スパークリング酒）に分けられ、各カテゴリーで審査されます。カテゴリー毎に「金」・「銀」・「銅」メダル受賞酒が選ばれ、金メダル受賞酒の中から最も優れた1本が各カテゴリーの「トロフィー酒」に選ばれます。さらに、「トロフィー酒」9本の中から1本が、その年最高の日本酒として「チャンピオン・サケ」に選ばれます。

また、日本酒の中でも最高峰と位置付けられ、各酒造会社が自社を代表するフラグシップとして扱う「大吟醸」。その最高の原料米として酒造会社から高く評価されているのが、酒米の王者「山田錦」です。大粒で、米の中心にある心白が大きいことが特徴で、程よい水分、脂肪やタンパク質の少なさなど、あらゆる点で酒造好適米としての美点を備えています。なかでも兵庫県は山田錦の「テロワール」と呼ばれ、気候・土壌・技術が一体となって生み出される「兵庫県産山田錦」は最高の酒米と称されています。そして、兵庫県の酒米試験地で産声をあげてから、今年で82年を迎えます。

2016年5月に開催されたIWCについて、井戸兵庫県知事は、県議会委員会で、IWCは2年に1度、日本で開く意向を示しているが、全てを兵庫でというわけにはいかないだろうが、4年に1度は開催するのはどうかと考えている。東京五輪がある2020年の誘致を目指して、酒造業界や関係市町と連携をとり、機運を高めていきたいと意欲を示されました。

2016年の「SAKE部門」では、県や業界団体らが開催支援委員会を立ち上げ、全国最大の日本酒生産量や高級酒米「山田錦」をPRする関連行事（審査員を

対象に山田錦セミナーや蔵人交流会を開催し、田植えや稲刈り体験)を三木市吉川でも開いています。2020年に兵庫県で開催されましたら、山田錦発祥の町「多可町」でも関連行事を誘致してはいかがでしょうか。

ここまでは、2016年12月に当時の戸田町長に質問したものです。戸田前町長は昨年2月に日本酒フェスタを開催する。また、2020年に兵庫県でIWCが開催されるとして、本年から準備すると回答されました。今年、7月に荒木兵庫県副知事がロンドンのIWCに出席し、酒所「兵庫」と播磨地域が誇る酒米山田錦の魅力を発信し、リード最高業務責任者から次回2020年のSAKE部門審査会の兵庫県開催への期待の言葉が寄せられた。また、荒木副知事も県として2年後の開催に向けて準備をしていることを伝えたと聞いています。

町長も吉田町長に替わりましたが、準備は進んでいるのでしょうか。2年後には、山田錦発祥の町「多可町」でも関連行事を誘致すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
 多可町議会議員 加門寛治



受 領 日	番 号
平成30年 9月 7日	
午前・午後 8時30分	10

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 小中学校へのエアコン設置について	町長・教育長
(1) 各小中学校は、少子化に伴いクラス数が減っているが、空き教室はないのですか。 (2) HR教室以外の部屋にもエアコンを設置するのですか。	
2. 生涯学習講座の現状と今後どのようにする予定なのか。	町長
(1) 各種生涯学習講座が行われていますが、それぞれの平均参加人数が 8.1人～8.5人であり、中央公民館、アスパル、加美・八千代の両プラザで行われているとのことですが、参加人数は少ないのではないですか。今後利用者を増やしていく予定があるのですか。 (2) 合併特例債で「生涯学習センター(仮称)」の新設という話があるようですが、利用者数が低い状況で必要でしょうか。	
3. 多可町図書館の現状と課題について	教育長・町長
(1) 現状として、書架が足りないようで、新たに図書を購入しても置く所がないと聞きましたが事実ですか。 (2) 現地での拡張ができないとして、加美・八千代の両プラザに本を移すとか、又は新規に図書館を新設するとかについて町長の見解をうかがいます。	

質 問 の 内 容

1. 小中学校へのエアコン設置について

今年度の7月初め頃からの太平洋高気圧とその上に乗った形でのチベット高気圧が原因で、小中学校の教室において、室温が30度を超えていました。

学校保健安全法第6条第1項には、

(学校環境衛生基準)

第六条 文部科学大臣は、学校における換気、採光、照明、保温、清潔保持その他環境衛生に係る事項(中略)について、児童生徒等及び職員の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準(以下この条において「学校環境衛生基準」という。)を定めるものとする。

とされ、

平成30年文部科学省告示第60号(平成30年3月30日)で同基準が改正され、温度の基準を「17℃以上、28℃以下が望ましい」としている。(以前は10℃以上30℃以下)

そこで、

(1)各小中学校は、少子化に伴いクラス数が減っているが、空き教室はないのですか。

(2)HR教室以外の部屋にもエアコンを設置するのですか。

2. 生涯学習講座の現状と今後どのようにする予定なのですか。

(1) 各種生涯学習講座が行われていますが、それぞれの平均参加人数が8.1人~8.5人であり、中央公民館、アスパル、加美・八千代の両プラザで行われているとのことですが、参加人数は少ないのではないのですか。今後利用者を増やしていく予定があるのですか。町長の見解をうかがいます。

(2) 合併特例債で「生涯学習センター(仮称)」の新設という話があるようですが、利用者数が低い状況で必要でしょうか。町長の見解をうかがいます。

3. 多可町図書館の現状と課題について

(1)現状として、書架が足りないようで、新たに図書を購入しても置く所がないと聞きましたが事実ですか。

(2)現地での拡張ができないとして、加美・八千代の両プラザに本を移すとか、又は新規に図書館を新設するとかについて町長の見解をうかがいます。

一般質問通告書

多可町議会議員 清水俊博様

多可町議会議員 市位裕文



平成 30年 9月 7 日	
受	午前
領	午後 9時 14分

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
災害対策としてのエアコン設置について	町長

今年の異常な暑さは、まさに災害とまで言われています。以前同僚議員がエアコン設置を訴えられ、財政上の問題もあり、扇風機、天井扇が設置されたことを思い出します。また報道によりますと、「太子町教育委員会が方針。 財政上の理由から設置は困難とされていたが、今夏の猛暑を受けて方針を転換。」

また岐阜県の藤掛第一病院ではエアコンの故障を放置、患者5名が死亡。熱中症の疑い。まさに今年の猛暑は災害とされています。

今回学校の先生よりの電話があり、「もう限界やわ！何とかしてもらわんと大変な事になるわ」 多可町は来年度の予算で、9月に中学校に設置予定やと説明しましたが、認識が甘い指摘されました。 事故が起きてからでは遅いから。 ことの深刻さを再認識しました。

現場からの訴えがここまで深刻とは、議会の議場も、役場の中も、冷房は効いています。教室は天井扇だけです。近隣の各市町も完備されたと聞きます。子育てするなら多可町。名前が泣きます。 今すぐ設置計画をして入札、来年度から工事を始めて、来夏には熱中症対策のきいた教室で、勉強がなされるべきです。聞き及びますと、土日に工事をすれば設置は可能とか。命がかかっています。「多可町教育委員会が方針転換。」この記事が掲載されるべきです。

設置予定の教室が、中学校 33 教室、小学校 55 教室、理科室をも含みます。約 3 億 5 0 0 0 万必要と聞きますが、合併特例債を使えば、ここは無理してでも投資すべきおかねです。町長の決断が必要です。

現場からの訴えを無視はできません。多可町も財政上の問題がありますが、この投資は必要です。町民も納得してくれます。

早期、来学期には小中学校のエアコンの設置を切に要望します。今のままの計画では遅すぎます。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様

多可町議会議員 日原 茂樹



受 領 日	番号
平成30年 9月 7日 午前・午後 10時 25分	12

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 情報発信力の強化	町長
別紙詳細	
2. プログラミング教育の準備はできているのか	教育長
別紙詳細	
3.	
別紙詳細	

質 問 の 内 容

1. 情報発信力の強化

人口減少や少子高齢化の進展等による時代の変化や、インターネットの発達に伴って発展してきたソーシャルメディアなどの利用拡大等により、住民から町の情報発信に対する柔軟性や多様性への要求が高まっています。

住民サービス向上を図るため、行政の広報は情報を発信するだけの一方通行的なものでなく、様々な年齢層、興味も異なる住民に対し、地域のイベント情報から災害時の避難情報まで、あらゆる情報を確実に届け、有効な利用を促すことを意識する必要があります。

また多可町を魅力ある町として発展させていくためには、定住人口や交流人口の確保、産業の振興などが必要です。多可町は、地域の特性と政策の積極的な情報発信を行い、よりよいイメージを確立し、多可町ブランドの向上を図っていかねばなりません。

町の魅力的な生活環境、観光情報、イベント情報等を発信できているかが、新たに多可町に行ってみたい、住んでみたいと思う人を増やす決め手になると考えます。ICTの急速な進化に伴うスマートフォン、タブレット端末、ソーシャルメディア等の普及により、待つ情報から得る情報へと住民意識が変わりつつあります。それに対応していくため、より高い情報発信力の強化を求められます。

多可町そのものの価値を高めるために、適切な媒体や手段を用いることで情報発信力を強化し、その魅力を全国に発信し、さらなる町のイメージアップを図る必要があります。

広報たか、ホームページ、たかテレビ、twitter、facebook、line@などのSNSや新聞・テレビ等で情報を発信していますが、この取り組みは有効でしょうか。適切な情報が欲しい人に確実に届いているのでしょうか。また多可町の魅力を全国に発信できているのでしょうか。

情報発信力は強化されているのか、ターゲットを意識した効果的な情報発信はできているのか町長の所見を伺います。

2. プログラミング教育の準備はできているのか

プログラミング教育は機械に意図した処理を行うよう指示することができるということを体験させながら、さまざまな資質や能力の開発、育成につなげ

るものです。政府が平成 28 年 4 月に発表した、名目 GDP 600 兆円に向けた成長戦略で、初等、中等教育でのプログラミング教育の必修化がうたわれ、これを受けて文部科学省では、2020 年度からの小学校でのプログラミング教育必修化に向けての取り組みを進めています。

プログラミング教育を小学校で導入する背景には、スマートフォンやタブレットが日常生活に欠かせない時代になり、今後、人工知能やロボットの普及などによる第 4 次産業革命により IT 関連産業がさらに拡大していくことが予想される反面、人材不足などが課題になっていることなどが上げられています。

プログラミング教育は子供たちの可能性を広げることもつながります。プログラミングの能力を開花させ、創造力を発揮して、起業する若者や特許を取得する子供も現れています。子供たちが秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍できるきっかけとなることも期待できるのです。

多可町にとっても、第 4 次産業革命は重要事項であり、未来ある子供たちの可能性を広げるため、さらには、将来、地元で働く子供たちを育成するためにもプログラミング教育は必要不可欠な教育項目であると考えます。プログラミング教育の利点は論理的思考力や問題解決能力、さらには創造力が磨かれることでもあります。

全国各地で先進的な実証実験がなされています。多可町では「これからの教育環境づくり」をテーマとして、タブレットを使った ICT の授業への活用に積極的に取り組んでいます。

しかし、プログラミング教育は、その指導法が確立されておらず、自治体によって差が生じる可能性があると言われてしています。2020 年のスタートに向けて、しっかりと準備を進めていく必要があります。

プログラミング教育に対して十分な準備が計画されているのでしょうか。また子供たちをどのような人材に育成していくのか、指導者の研修や人材確保の取り組みは十分にできているのか、教育長の所見を伺います。

一般質問通告書

【第87回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
 多可町議会議員 酒井洋子



受 領 日	番号
平成30年 9月 7日 午前・午後 10時 30分	13

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 未来への投資と仕組みづくり	町長
【ロバートさんのNGI構想】 ・多可町の問題解決と教育に人と企業が参画するという発想	
2. 一般財団法人多可町農林業公社について	町長
平成24年4月からの法人の変更についての経緯は	

質 問 の 内 容

NGI 構想は旧中町時代に英語の先生だったロバートさんは、このまちの歴史や文化、村づきあいや地域の在り方は、個人主義のアメリカにはない人が暮らす基本だと考えました。愛着のある多可町の問題（人口減少、担い手の減少、空き家、高齢化、介護、遊休地などなど）を自分のこととして共感し、国内外でのロバートさんの人脈をはじめ、さまざまな情報収集や発信の場を利用して、最適任の革新的で創意工夫に富むリーダー的人材（以下 NGI 人財）にこれらの問題解決をしてもらおうとの考えから、NGI 構想を作りました。

NGI 人財は、今ある多可町の問題を研究し解決に向けて動きます。彼らの生活費は、多可町内の企業（農業でも、飲食店でも、何かの販売店でも、教育施設でも病院や幼児教育現場でもよい）に勤めることによって得ます。つまり、企業は多可町の NGI 構想に人件費という形で協力する代わりに、企業が抱える問題を解決し、さらなる発展の道を見つけることを見返りとしします。

そして、旧八千代北小学校を寄宿舎とします。

これが初めの人の流れです。

結果として、さまざまな問題を見つけて、解決の方向を示し、多可町内に起業する人を育成し、地域活性のアイデアを住民が身につけ、地元の運営をもっと喜んで行い、他地域からの関心と人を集めるという人の流れと活気を期待できます。これが町内の人動きです。

契約年限となった NGI 人財は、多可町に残って家族を持ち起業したり、どこかの企業で研究員として残れますし、帰国してもその人を通じてその国と多可町とのパイプができます。これが多可町からスタートする外に向けた人の流れです。このように、人の流れ一つとっても、今までにはない大きなスケールの流れができ、多可町がもっと元気になることを期待できます。

また色々な地域から、英語だけではなく多くの母国語を持つ人が来ることで、子どもたちに早いうちからさまざまな言語に触れる機会を提供できます。NGI 人財が、学校で雇用されれば、言語教育の質や喜びが大幅にアップすることは言うまでもありません。さらに NGI 人財は、縁のなかった多可町で「問題解決をしよう」と志を持ったイノベーションです。「ジュニア NGI」を設け、幼い頃から地元の問題解決を一緒に取り組み、一旦町外へ出たとしても Uターンしたくなる地元愛と自立できる起業家精神を育みます。子どもたちの教育の場としても意義の深い NGI 構想に、図書館を盛り込むことは必須とも言えます。多可町の自然環境と、里山の景観は、街にはない大きな強みです。ここに NGI 教育があれば、子どもたちをこんな環境で育てたいと考える人にアピールでき

るはずです。

地元企業の協力を得て、NGI 人財と住民、そして子どもたち協働による NGI 構想はこれまでにない地域創生の形であり、日本の中山間地域における多くの問題を解決する先駆けとなることは間違いなく、各地からの視察や見学者も見込まれます。

町長が一番心配している「お金」のことは、この事業の意義を理解した上で、取り組むと決めることで解決の糸口が見えるのではないのでしょうか？

私は、財政の専門家ではありませんが、国の地方創生交付金、県の地域創生交付金、またユニバーサルデザイン化については、2020 年東京五輪までの期間で補助メニューがあるように認識しています。補助金ありきの事業ではなく、まずは多可町の今後の目的と目標を共有し、みなで知恵を出し合おうという方向に舵を切ることで道が見えてくるのではないのでしょうか？

農林業公社についておたずねします。

29 年度決算書にある出捐金の記載について、元々あった 3 億円から、3 千万円財産の取り崩しをすると報告を受けた記憶があったので、2 億 7 千万円と書かれるものと認識していました。会計課長に問い合わせたところ、出捐金は寄付と同じなので出した金額を書けばよいと知りました。そして農林業公社は、24 年 4 月 1 日に財団法人から一般財団法人に変更になったことで、多可町からの出捐金は法人の財産となり、町や議会とは関係なく使ってよい性質のお金になったことも知りました。

そこで質問です、なぜ一般社団法人に変更になったのですか？その時どんないきさつがあってこのような形になったのかを教えてください。